

ELECOM

ドライブレコーダー

LVR-SD310Hシリーズ

ドライブレコーダー専用アプリ Driview 操作ガイド

このたびは、ドライブレコーダー LVR-SD310H シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

最初に『スタートアップガイド』をお読みの上、取り付け、電源の接続など、設置を行ってください。

『Driview 操作ガイド』（本書）には、本製品で撮影されたライブ映像や記録された映像の再生、撮影に関する設定などを行うスマートフォンアプリの使用方法が記載されています。



目次

Android 端末での操作	2
■トップ画面での操作	2
トップ画面のアイコン操作	2
■プレビュー画面での操作	2
プレビュー画面のアイコンを表示する	2
プレビュー画面のアイコン操作	3
■記録された映像を再生する	3
記録された映像を再生する	3
再生画面のアイコン操作	4
■映像をバックアップする	4
■設定を変更する	5
設定内容を変更して保存する	5
設定項目の一覧	6
iPhone での操作	8
■トップ画面を表示する	8
トップ画面でのアイコン操作	8
■記録された映像を再生する	8
記録された映像を再生する	8
再生画面のアイコン操作	9
■映像を保存する	9
■設定を変更する	10
設定内容を変更して保存する	10
設定項目の一覧	11

Android 端末での操作

LVR-SD310Hシリーズの設置とAndroid端末との接続が完了している状態で、アプリの操作ができるようになります。LVR-SD310Hシリーズとの接続が切れている場合には、再接続してください。

メモ

設置と接続については『スタートアップガイド』の「スマートフォンと接続する - Android 端末」を参照してください。

■トップ画面での操作

1. プレビュー画面が表示されている場合、**戻る** をタップします。



トップ画面が表示されます。



トップ画面のアイコン操作

アイコン	機能
	映像の撮影に関する設定の画面を表示します。
	接続機器を追加する画面を表示します。
	本製品に接続し、プレビュー画面を表示します。 ※初期画面の本製品イメージをタップしても同様に操作できます。
	本製品の登録を削除します。

■プレビュー画面での操作

プレビュー画面のアイコンを表示する

1. プレビュー映像が表示されている画面をタップします。
プレビュー画面下にアイコンが表示されます。



プレビュー画面のアイコン操作

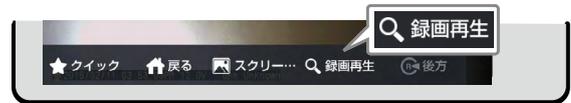
アイコン	機能
★クイック	トップ画面を表示せずに、すぐにプレビュー画面を表示するよう設定します。
🏠戻る	トップ画面を表示します。
🖼️スクリー...	現在表示されている映像を静止画として保存します。
🔍録画再生	記録された映像のリストを表示します。

■記録された映像を再生する

本機内のmicroSDカードに記録された映像を、Wi-Fiで接続されたスマートフォンで再生して確認できます。

記録された映像を再生する

1. プレビュー画面で **🔍録画再生** をタップします。
データの保存場所を選択するメッセージが表示されます。



2. [イベントフォルダ]、または [通常のフォルダ] をタップします。

選択したフォルダ内の録画リストが表示されます。



3. 映像の時刻を確認して、再生したい映像をタップします。

選択した映像が再生されます。



4. 再生映像が表示されている画面をタップします。
画面下に再生操作のアイコンが表示されます。



再生画面のアイコン操作

アイコン	機能
	現在表示中の映像の、ひとつ前の映像を再生します。
	再生を一時停止します。アイコンが再生アイコンに変わり、再生アイコンをタップすると、再生を再開します。
	現在表示中の映像の、次の映像を再生します。
	microSD カードに記録された映像をバックアップします。 このアイコンをタップすると、音声を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。映像とともに音声も保存する場合は [はい] を、保存しない場合は [いいえ] をタップします。

■映像をバックアップする

記録した映像をAndroid端末内にバックアップできます。

1. 保存したい映像を録画リストから選択して再生します。

再生するまでの操作については、「記録された映像を再生する」(P.3) を参照してください。

2. をタップします。

音声を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



3. 必要に応じて [はい]、または [いいえ] をタップします。

ダウンロード中のメッセージが表示されます。

映像のダウンロードが完了すると、完了メッセージが表示されます。



4. [OK] をタップします。

保存場所の名称はご使用の Android 端末によって異なります。「ELECOM」フォルダはバックアップ時に作成されます。



■設定を変更する

撮影映像や音声に関する設定、衝撃検知による録画(イベント録画)の設定、ユーザー情報など、撮影に関するさまざまな情報を変更できます。

設定内容を変更して保存する

1. トップ画面で **設定** をタップします。



設定のトップ画面が表示されます。



2. 必要な設定項目をタップして表示します。

[前方] [時間] [イベント] [システム] [情報] の各アイコンをタップすると、画面が切り替わります。

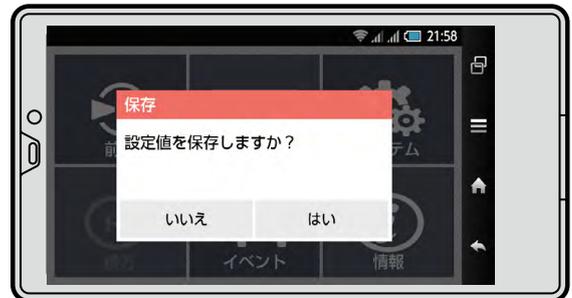
3. 必要に応じて、設定値を変更します。

設定内容の詳細については「設定項目の一覧」(P.6) を参照してください。

4. 設定画面のトップに戻り、Android 端末の [戻る] アイコンをタップします。

変更内容の保存を確認するメッセージが表示されます。

5. [はい] をタップします。



6. [はい] をタップします。

変更内容が microSD カードに保存され、本製品が再起動されます。

トップ画面に戻ります。

設定項目の一覧

設定画面では、次の項目について設定の変更ができます。

前方

設定項目	設定内容と設定値
解像度	映像の解像度を設定します。タップして「720P (1280*720)」、「450P (800*450)」のどちらかを選択します。※初期値は「720P (1280*720)」
明るさ	映像の明るさを設定します。タップして「暗く」、「基本」、「明るく」のどれかを選択します。※初期値は「基本」
常時録画	常時録画で撮影する映像の1秒あたりのフレーム数を設定します。タップしてフレーム数を選択します。タップするたびにフレーム数が切り替わります。 1、2、5、10、15、20、25、30 (※初期値は「30」)
イベント録画	イベント録画で撮影する映像の1秒あたりのフレーム数を設定します。タップしてフレーム数を選択します。タップするたびにフレーム数が切り替わります。 1、2、5、10、15、20、25、30 (※初期値は「30」)

時間

設定項目	設定内容と設定値
自動的に再起動	安定した動作のために、本機を自動的に再起動するように設定します。「自動的に再起動」をタップして「オン」、「オフ」を切り替えます。「午前」または「午後」をタップし、時刻をスワイプして再起動の時間を選択します。 ※初期値は「自動的に再起動」がオン、時刻が午前 3:00

システム

設定項目	設定内容と設定値
音声録音	音声を録音するかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」
上書き保存	イベント記録用の領域がいっぱいになった場合に上書きするかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」
イベントブザー	イベント時にブザーを鳴らすかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」
音声案内	音声案内をするかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」
セキュリティー LED	セキュリティー LED を使用するかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」
車両のバッテリー保護	バッテリー保護のための電圧設定をするかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」
Power On	本製品が動作可能な電圧を設定します。タップして電圧を選択します。タップするたびに電圧が切り替わります。 12.4V/24.4V、12.7V/24.7V、12.9V/24.9V、13.1V/25.1V、13.3V/25.3V (※初期値は「12.9V/24.9V」)
Auto Power Off	本製品が自動的にシャットダウンする電圧を設定します。タップして電圧を選択します。タップするたびに電圧が切り替わります。 11.3V/23.3V、11.5V/23.5V、11.8V/23.8V、12.0V/24.0V、12.3V/24.3V (※初期値は「11.8V/23.8V」)

イベント

設定項目	設定内容と設定値
衝撃	本体内部の衝撃センサーが衝撃を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 ※初期値は「オン」
駐車	通常録画状態で、本体内部の衝撃センサーが動作を検知しない場合、約 10 分後に駐車モードとなり、記録のフレームレートを 5fps に減らし記録をします。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 ※初期値は「オン」
動体検知	駐車モード中に、映像に大きな変化を検出すると動体検知イベントとして記録を保護します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」
オーバースピード	設定された時速を超えた場合、前後の記録をイベントとして保護します。タップすると、スピード設定のダイアログボックスが表示されます。スライダーでスピードを指定して [OK] をタップします。 ※初期値は「オフ」

設定項目	設定内容と設定値
急加速	本体内部の衝撃センサーが急加速（アクセル）を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 ※初期値は「オフ」
急減速	本体内部の衝撃センサーが急減速（ブレーキ）を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 ※初期値は「オフ」
イベント前	イベント前の録画時間を設定します。タップして「2 秒」、「4 秒」、「6 秒」のどれかを選択します。イベント前の記録は、常時録画のフレームレートの設定が「1」のときのみ有効となります。設定が「1」以外の場合は表示がグレーになり操作できません。 ※初期値は「無効」
イベント後	イベント後の録画時間を 2 秒から 2 秒間隔で最大 30 秒までの間で設定します。タップして秒数を切り替えます。 ※初期値は「20 秒」
イベント領域設定	microSD カード内のイベント記録用の領域を設定します。 イベント録画用の領域の大きさを % で設定します。タップするたびに 10% ずつが値が変わります。 ※初期値は「40%」 注意 ・ イベントデータを保護したい場合は、必ずイベント記録用の領域を設定してください。0% に設定すると、イベントデータが保護されなくなります。 ・ microSD カード内の設定ファイル（system.cfg）と異なる値を設定し、保存した場合には、記録されているデータがすべて削除されます。
感度：衝撃センサー	イベント時の衝撃を検知するセンサーの感度を設定します。タップするたびに「高」、「中」、「低」が切り替わります。 最初は弱めに設定し、ご使用のたびに少しずつ感度を上げて、適切な感度になるように調整することをお勧めします。※初期値は「中」
感度：駐車	駐車モード時の衝撃を検知するセンサーの感度を設定します。タップするたびに「高」、「中」、「低」が切り替わります。 最初は弱めに設定し、ご使用のたびに少しずつ感度を上げて、適切な感度になるように調整することをお勧めします。※初期値は「中」

●情報

本体ファームウェアのバージョンを表示します。

専用アプリ Driview動作要件

対応 OS (Apps)	Android OS 4.0 以降
--------------	-------------------

iPhone での操作

LVR-SD310Hシリーズの設置とiPhoneとの接続が完了している状態で、アプリの操作ができるようになります。
LVR-SD310Hシリーズとの接続が切れている場合には、再接続してください。

メモ

設置と接続については『スタートアップガイド』の「スマートフォンと接続する - iPhone」を参照してください。

■トップ画面を表示する

1. プレビュー映像が表示されている場合は、画面左上の【< TOP】をタップします。



トップ画面が表示されます。



トップ画面でのアイコン操作

項目	機能
プレビュー	プレビュー画面を表示します。
録画再生	記録された映像のリストを表示します。
設定	設定画面を表示します。 設定画面では、録画やイベント、音声などの設定ができます。
ヘルプ	操作方法を表示します。

■記録された映像を再生する

本機内のmicroSDカードに記録された映像を、Wi-Fiで接続されたiPhoneで再生して確認できます。

記録された映像を再生する

1. トップ画面で【録画再生】をタップします。

再生したいデータの保存場所を選択するメッセージが表示されます。



2. [イベントフォルダ]、または [通常のフォルダ] をタップします。

選択したフォルダ内の録画リストが表示されます。



3. 映像の時刻を確認して、再生したい映像をタップします。

メモ

画面右上の 🔍 をタップすると、録画リストのデータを10個ずつスクロールします。最後までスクロールすると、「最後のデータです」とメッセージが表示されます。録画リストはスワイプしてスクロールすることもできます。

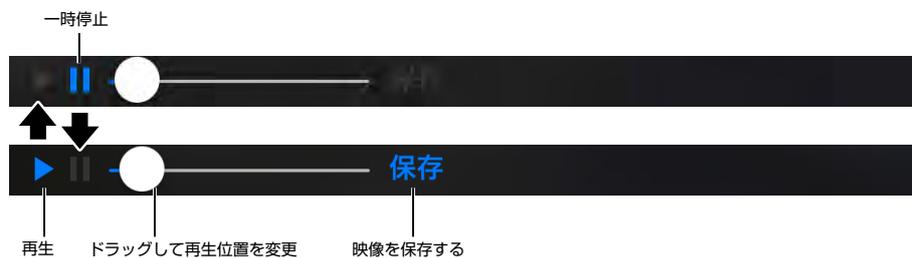


選択した映像が再生され、画面下に再生操作のアイコンが表示されます。



再生画面のアイコン操作

再生画面では次の操作ができます。



■映像を保存する

記録した映像を写真、または動画としてiPhone内に保存できます。

1. 保存したい映像を録画リストから選択して再生します。
再生するまでの操作については、「記録された映像を再生する」(P.8) を参照してください。
2.  をタップして、再生を一時停止します。

映像の再生が停止され、画面下に「保存」が表示されます。



3. [保存] をタップします。

保存するデータの種類を選択するようメッセージが表示されます。



4. [写真の保存]、または[動画の保存] をタップします。

[写真の保存] を選択した場合は、保存を確認するメッセージが表示されます。



5. [写真の保存] を選択した場合は [OK] をタップします。

[動画の保存] を選択した場合は、保存中のメッセージとともに経過を示すバーが表示され、メッセージが消えると保存が完了します。



■設定を変更する

撮影映像や音声に関する設定、衝撃検知による録画(イベント録画)の設定、ユーザー情報など、撮影に関するさまざまな情報を変更できます。

設定内容を変更して保存する

1. トップ画面で [設定] をタップします。

設定画面が表示されます。



2. 必要に応じて、設定値を変更します。

設定項目の右側に [>] が表示されている場合は、詳細画面があります。[>] をタップして表示してください。
設定内容の詳細については「設定項目の一覧」(P.11) を参照してください。

3. [TOP] をタップします。

詳細画面を表示している場合は、画面左上の [設定] をタップした後、[TOP] をタップします。

変更内容が microSD カードに保存され、「設定変更後、再起動します。システムを終了します。」と音声ガイダンスが聞こえます。

メモ

設定を変更しなかった場合は、そのまま TOP 画面に戻ります。

TOP 画面が表示されます。

設定項目の一覧

設定画面では、次の項目について設定の変更ができます。

●機能

設定項目	設定内容と設定値
録画設定	解像度 映像の解像度を設定します。スライダーをドラッグして「720P (1280*720)」、 「450P (800*450)」のどちらかを選択します。 ※初期値は「720P (1280*720)」
	フレームレート 撮影する映像の 1 秒あたりのフレーム数を設定します。スライダーをドラッグしてフレーム数を選択 します。 常時録画 1、2、5、10、15、20、25、30 (※初期値は「30」) イベント録画 1、2、5、10、15、20、25、30 (※初期値は「30」)
	明るさ 映像の明るさを設定します。スライダーをドラッグして「暗く」、「基本」、「明るく」のどれかを選択 します。※初期値は「基本」
イベント 設定	イベントフィルター 自動的に録画される常時録画とは異なり、何らかのイベントによって録画が開始されるイベント録画 に関する設定をします。次の 6 種類のイベントをタップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 衝撃 本体内部の衝撃センサーが衝撃を検知した場合、前後の記録をイベントとし て保護します。 駐車 通常録画状態で、本体内部の衝撃センサーが動作を検知しない場合、約 10 分後に駐車モードとなり、記録のフレームレートを 5fps に減らし記録をし ます。 動体検知 駐車モード中に、映像に大きな変化を検出すると動体検知イベントとして記 録を保護します。 オーバースピード 設定された時速を超えた場合、前後の記録をイベントとして保護します。 スライダーをドラッグすることで、イベントの基準となる速度を設 定します。時速 40km ~ 200km の間で、1km 単位で選択できます。 ※初期値は「120km」 急加速 本体内部の衝撃センサーが急加速 (アクセル) を検知した場合、前後の記録 をイベントとして保護します。 急減速 本体内部の衝撃センサーが急減速 (ブレーキ) を検知した場合、前後の記録 をイベントとして保護します。 ※初期値は、「衝撃」「駐車」「動体検知」がオンになっています。
	感度 衝撃 イベント時の衝撃を検知するセンサーの感度を設定します。スライダーをド ラッグして「高」、「中」、「低」のどれかを選択します。 最初は弱めに設定し、ご使用のたびに少しずつ感度を上げて、適切な感度 になるように調整することをお勧めします。※初期値は「中」 衝撃 (駐車時) 駐車モード時の衝撃を検知するセンサーの感度を設定します。スライダーを ドラッグして「高」、「中」、「低」のどれかを選択します。 最初は弱めに設定し、ご使用のたびに少しずつ感度を上げて、適切な感度 になるように調整することをお勧めします。※初期値は「中」

設定項目		設定内容と設定値
イベント設定	イベント前録画	イベント前の録画時間を設定します。スライダーをドラッグして「2秒」、「4秒」、「6秒」のどれかを選択します。 イベント前の記録は、常時録画のフレームレートの設定が「1」のときのみ有効となります。設定が「1」以外の場合はスライダーがグレーになり操作できません。 ※初期値は「無効」
	イベント後録画	イベント後の録画時間を2秒から2秒間隔で最大30秒までの間で設定します。「-」、「+」をタップして秒数を選択します。 ※初期値は「20秒」
	イベント領域設定	microSDカード内のイベント記録用の領域を設定します。 スライダーをドラッグして、イベント記録用の領域の大きさを%で設定します。 ※初期値はイベント「40%」 注意 ・ イベントデータを保護したい場合は、必ずイベント記録用の領域を設定してください。0%に設定すると、イベントデータが保護されなくなります。 ・ microSDカード内の設定ファイル(system.cfg)と異なる値を設定し、保存した場合には、記録されているデータがすべて削除されます。
電源設定	車両のバッテリー保護	バッテリー保護のための設定です。バッテリー保護の機能を使うか、使わないかを「オン」、「オフ」のどちらかをタップして選択します。※初期値は「オン」 Power ON (本製品が動作可能な電圧)と、Auto Power off (本製品が自動的にシャットダウンする電圧)を設定します。 Power On 12.4V/24.4V、12.7V/24.7V、12.9V/24.9V、13.1V/25.1V、13.3V/25.3V (※初期値は「12.9V/24.9V」) Auto Power off 11.3V/23.3V、11.5V/23.5V、11.8V/23.8V、12.0V/24.0V、12.3V/24.3V (※初期値は「11.8V/23.8V」)
	再起動	安定した動作のために、本製品を自動的に再起動するように設定します。「再起動」をオンにし、時刻をスワイプして再起動の時刻を選択します。 ※初期値は「再起動」がオン、時刻は3:00
音声録音	音声を録音するかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 ※初期値は「オン」	
上書き保存	イベント記録用の領域がいっぱいになった場合に上書きするかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」	
イベントブザー	イベント時にブザーを鳴らすかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 ※初期値は「オン」	
セキュリティーLED	セキュリティーLEDを使用するかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。 ※初期値は「オン」	
音声案内	音声案内をするかどうかを設定します。タップして「オン」、「オフ」を切り替えます。※初期値は「オン」	

●ドライブレコーダーの情報

設定項目	設定内容と設定値
モデル	SD310H
ファームウェア	本体ファームウェアのバージョンを表示します。

専用アプリ Driview動作要件

対応 OS (Apps)	iOS 7.0 以降
--------------	------------